

第3章 生涯学習推進のための視点

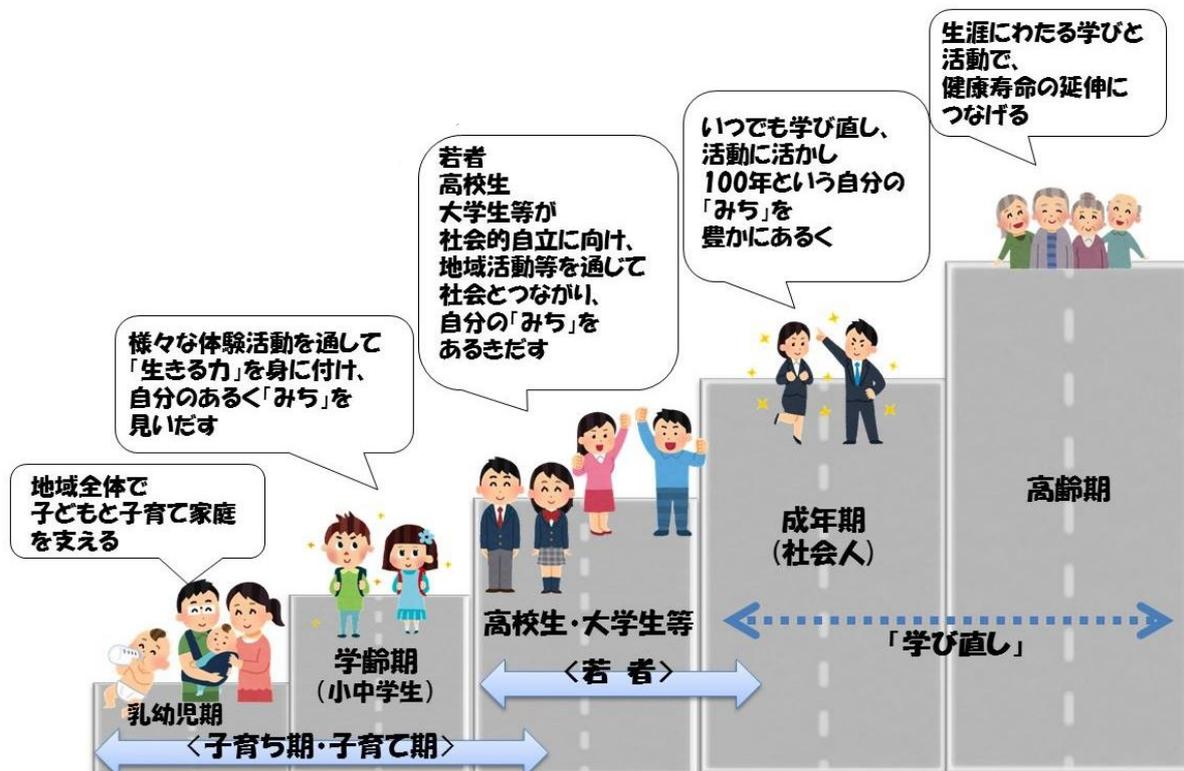
1 生涯学習プラン策定の視点

国や都の生涯学習の動向及び生涯学習施策の取組状況を踏まえ、今回「生涯学習プラン」の策定に当たって特に重視すべき視点として、次の3点に整理しました。

(1) 視点① 全てのライフステージに応じた、切れ目ない学び

人生100年時代においては、生涯の様々なステージに必要な能力を着実に身に付け、発揮することが一層重要になります。そして、市民が生涯学習活動への意欲をもって、学びを継続していくためには、年齢、国籍、障害のあるなしに関わらず、誰もが自らの意思によって学べる環境づくりを推進していく必要があります。

そこで、ライフステージごとに異なる課題を意識し、一人一人の成長や歩みに応じた多様な学習機会を提供し、人生100年時代を見据えたライフサイクルの中で、一人一人が生涯にわたって必要な知識・技能を身に付け、他者と協働しながら、その成果を生活や地域での活動等に活かすことができる環境づくりを進めます。



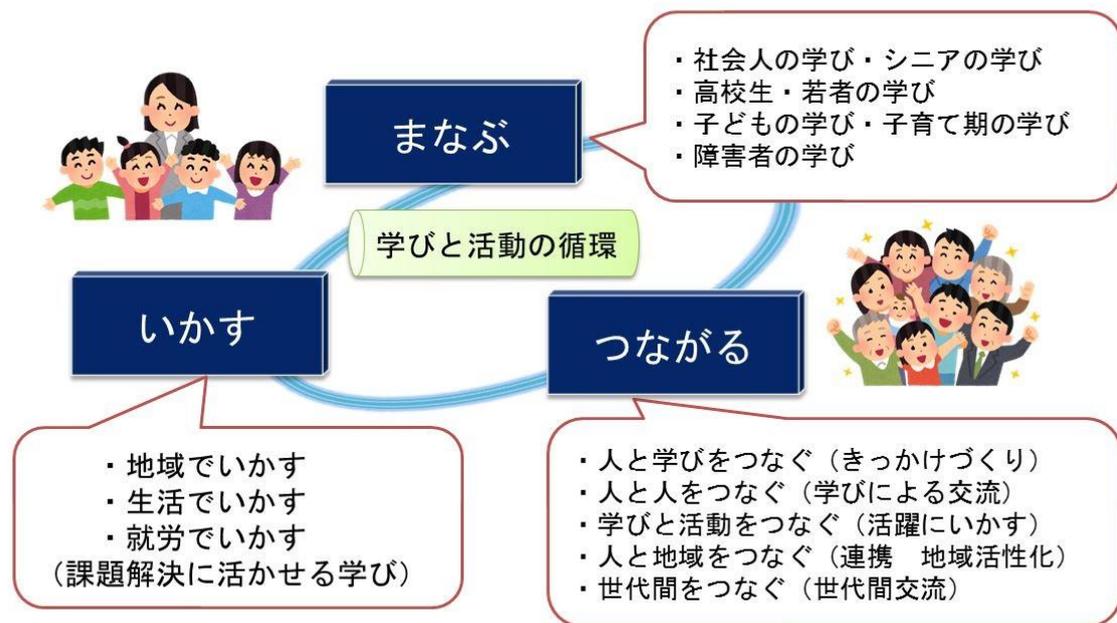
■ 全てのライフステージに応じた、切れ目ない学び

「<子育て期・子育て期>」「乳幼児期」「学齢期 (小中学生)」「高校生・大学生等」「<若者>」「成年期 (社会人)」「高齢期」など、ライフサイクルを見通した学び

(2) 視点② 「学び」と「活動」が循環し、地域社会に還元する学び

いつでも、どこでも、主体的に学ぶことができる環境を整えるためには、学びのきっかけをつくり、学びたいという意欲に応えられることが重要です。そして、学びの意欲が一層高まるようにするには、学びの成果を活かせる機会の充実が必要です。

学びをきっかけに地域社会に参加し、習得した知識や技能・経験を「地域活動」「ボランティア活動」「PTA 活動」「スポーツ・レクリエーション活動」「文化芸術活動」「就労」などの活動に活かすことで、充実感が味わえ、また、新たな課題解決のために学ぼうという「学びと活動の循環」につながり、その成果を地域社会に還元します。



■ 「学び」と「活動」が循環し、地域社会に還元する学び

学びを「地域活動」「ボランティア活動」「PTA 活動」「スポーツ・レクリエーション活動」「文化芸術活動」「就労」などの活動に活かし、新たな学びへと循環させ、その成果を地域社会への還元につなげる

(3) 視点③ 地域社会全体でつながり、広がる学び

地域には多様な学びを行っている人が多くいます。その学びを更に発展させるには、地域全体がつながっていく必要があります。人と学びのつながりの上に、人と人、学びと学びがつながり、人と地域がつながり、世代間のつながりも加わって、地域全体に交流の輪が拡大することになります。そして、このことは、更なる学びや地域活動呼び起こすきっかけとなります。

こうした好循環が生まれるネットワーク化の重要性が高まっています。地域にある教育資源（生涯学習施設・小中学校・コミュニティ施設、大学等）を地域で活用し、地域市民・市民団体・企業など様々な主体が連携・協働することによって、学びの輪を地域全体に広げ、活力ある魅力あふれる地域づくりにつなげます。



■ 地域社会全体でつながり、広がる学び

地域の学習資源（生涯学習関連施設・学校施設・大学等）の活用、地域住民・市民団体・企業など様々な主体による連携・協働



2 施策の方向性

3つの視点をもとに、これからの生涯学習施策の方向性として、次のとおり6つの方向性を設定し、「学びのまち八王子」を目指します。

(1) 社会人の学び直し（リカレント教育）

人生が100年という長い時間となり、小学校から高等学校・大学等まで学び、1つの職業のみで定年退職を迎え、余生を過ごすという従来の価値観だけでは、長い人生を充実させていくのは難しくなりつつあります。「人生100年時代」では、学校→仕事→老後といった3ステージの単線型の「みち（人生）」ではなく、マルチステージ型の「みち（人生）」となります。

本市においても、100年という人生を豊かに送るという観点から、学校卒業後の社会人等に限らず、若者も高齢者も、生涯にわたって、学びたいときに、いつでも学び始められ、学んだ成果を活動に活かすことのできる環境づくりを進めます。

それまでの人生のなかで培ってきた経験と、新たに学んだことの相乗効果により、その人ならではの力を発揮し、自らの興味に基づいて、仕事や地域社会、生活上の課題解決に活かすことができるよう、取組を進めます。

(2) 若者の学び、高校生・大学生等の活動の支援

若者（義務教育終了後から30歳未満）が社会的に自立し、自らの「みち」をあるけるよう、生涯学習活動の観点から支援します。

高校生や、大学・短期大学・高等専門学校などで学ぶ学生は、自分が学んでいることが、社会で役立つことを実感したいと考えています。身近で多様な人と関われる地域社会は、学生が自らの力を試し、経験を積むのに素晴らしい場となります。高校生等による地域課題解決型学習をはじめ、学生が地域社会で活動できるよう支援します。

その一方で、地域社会は学生を人手として当てにするのではなく、新しい視点や今までにない立場で発見を提供してくれるパートナーとして捉える必要があります。

市や市民団体と学生がお互いに刺激しあい、相乗効果を得られる学園都市の実現を目指し、本市で育った学生が世界へ羽ばたき、本市で学んだことを活かして活躍できるよう、取組を進めます。

(3) 子どもの頃から始める生涯の学び

子どもの頃から、生涯にわたる学びを見据え、様々な自然体験・社会体験等の体験活動を通して、他者との関わりや社会との関係を学んだり、視野を広げたりすることは、「生きる力」「学びに向かう力」を身に付け、自分のあるく「みち（自分らしい生き方）」を見だし、将来自立した社会人となるための基盤づくりとなります。

特に情報化社会の中で、子どもたちは知識として知っていても、実際に体験したことがないことが増えていることが懸念されています。子どもたちに必要なのは、バーチャルではない五感で感じる原体験です。

そこで、家庭・地域・学校が連携して子どもを育てていくという視点を加味し、経験や技能を豊富に持っている高齢者等地域の人との交流を通じて子どもたちが体験活動する機会を増やすとともに、学校での学びと地域での学びをつなぎ、学びの基礎づくりとなるよう、取組を進めます。

また、子どもたちにグローバルな視点でものごとを考え、国際理解が深まるきっかけとなる海外交流の機会が提供できるよう、取組を進めます。

(4) 障害者の生涯学習の推進・共生社会実現に向けた取組

多様な人と人がつながることにより、障害者が自立できることが大切です。

障害のある人もない人もともに学び、働き、社会参加していくために、学習、スポーツ・レクリエーション活動、文化芸術などの様々な分野の生涯学習環境の整備を進めるとともに、学校を卒業した後も、自ら学び、誰もが地域社会の一員として、人との関わりを持ちながら活躍し、豊かな人生を送れるように、学びたいという意欲に応じられるよう、多様な学びを提供します。

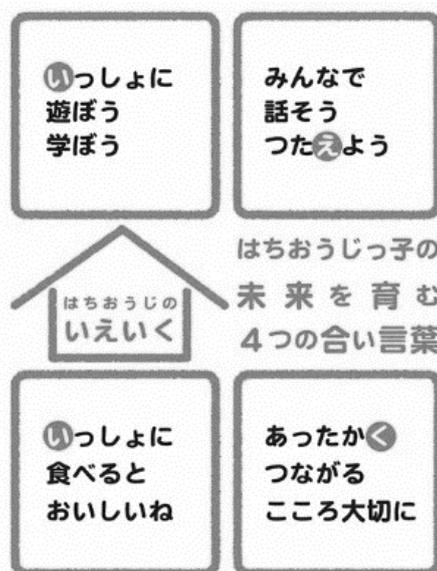
また、情報化社会の加速による、情報が得られる人、得られない人との格差の拡大が懸念されているほか、日本語を母語としない市民も増えている状況があります。共生社会の実現、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、生涯学習の環境を整え、全ての人が生涯学習の機会が得られるよう、取組を進めます。

(5) 地域全体で子育てと子育て家庭を応援

子育てと子育ては、決して子育て家庭だけの課題ではありません。

家庭環境の多様化に伴い、本市で行っている、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援による子育て家庭に寄り添う取組とともに、地域全体で子どもと子育て家庭を支えていく取組「はちおうじのいえいく（家育）」を進めます。

保護者の中には自ら相談をすることが難しい人もいることから、地域と子育て家庭がつながるきっかけをつくり、子育て家庭からも地域の人からも、双方からアプローチできるように、保護者同士のつながりや、地域の人とのつながりができるよう、取組を進めます。



▲はちおうじのいえいく

(6) 生涯学習活動における学校、家庭、地域等との連携

地域が抱える課題が多様化・複合化している昨今、誰もが安心して住み続けたいと感じられる「活力ある魅力あふれるまち」の実現に向け、地域の一人一人が主体的に取り組むことが求められています。

一方、地域と学校との関係では、これまで地域が学校を応援する・支援するという一方向の関係性で行われていたものの、今後は地域学校協働活動を通じて、地域と学校の間を「連携」「協働」へと発展させていくことが求められています。学校や子どもたちの視点が重視されがちですが、生涯学習活動の視点から、地域の人にとっても学びとなる活動に参画できる連携の姿を考える必要があります。

現在、進めている「社会に開かれた教育課程」を実現するため、学校は地域との連携・協働を一層進めることが重要です。地域の多様な人財が学校の教育活動に参加することは、子どもたちにとって、地域の人々の支援により地域を学び、子どもたちが主体的に地域の課題を見つけ地域の人とともに課題解決に向けた能動的な学びを行うことを通じて地域への愛着を育むことにつながり、また、参加する地域の人にとっては、自らの学びの場となることを通じて、特に高齢者にとっては健康の維持・増進や生きがいになるような活動の機会となるなど、各々の人たちにとっての自己実現に資することにつながります。そして、地域コミュニティにとっても、これらの取組によって多世代協働が進み、地域の活性化やソーシャルキャピタルの醸成につながり、子どもの育ちを支える基盤が形成されることが期待できます。

これらのことを踏まえ、「地域とともにある学校」を進め、学校施設を生涯学習活動の視点で捉え直し、地域と学校とが連携・協働した様々な活動の実践によって、地域の大人にとっても子どもたちにとってもそれぞれの学びにつながり、ともにメリットとなるよう、取組を進めます。

家庭
教育
支
援
リ
ー
フ
レ
ット

はちおうじの「いえいく（家育）」とは？

今、家庭状況の多様化や子育てと地域との繋がり希薄化など、子育て環境や家庭教育を支える地域に求められる役割は、大きく変化しています。

八王子市では、地域全体で「はちおうじっ子」の未来を育むため、すべての教育の原点となる家庭教育を「いえいく」と呼ぶこととしました。

家庭だけでなく、地域のみんなでも子ども子育てを応援しましょう。

QRコードから「はちおうじのいえいく」ホームページにアクセスできます。

はちおうじのいえいく

ここをクリック

ご家庭の方へ～笑顔と安らぎのある場所にするためには～

- 一人で悩まないで！
子どもの事を思うからこそ、疑問や悩みをもつことはあたりまえです。一人で悩まずに、身近な人に相談してみましょう。
- できることからやってみよう！
その日にあったことを話したり、子どもの声に耳を傾ける時間をつくりましょう。

もしもの場合は迷わずに！

相談・出発・子育て相談窓口 いじめ相談窓口
 はちおうじっ子 子育てホットライン 子どものいじめ相談電話(八王子市) 東京 親しい相談ホットライン

☎042-686-2115(0～24) ☎042-620-7499 ☎0120-53-6188(24時間受付)

地域の方へ～「OSEKAIおじさん・おばさん」になろう～

- あいさつは大人から声をかけましょう **東京 OSEKAI 計画**
大人に声をかけるのが苦手な子もいます。「おはよう」「おがえり」「ありがとう」など、大人から声をかけてみましょう。
- 一人で行っている子どもがいたら見守りと声かけを
普段から子どもを見守っていたくとも、子どものちょっとした変化に気づいたら、声をかけてください。

八王子市 八王子市教育委員会 八王子市公立小学校長会 八王子市立中学校長会
 八王子市立小学校PTA連合会 八王子市立中学校PTA連合会 令和2年4月 第2期

第4章 生涯学習プランの推進施策

1 生涯学習プランの基本理念

基本理念は、「**市民・地域とともに高めあう 学びのまち八王子～みんながまなぶ いかす つながる～**」とします。

2 目指す姿

「八王子ビジョン 2022」の6つの都市像の一つ「生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち」の基本施策の一つ「学びを活かせる生涯学習の推進」の実現に向け、施策番号 22 に、「誰もが、いつでも、どこでも学習できる環境整備がすすみ、生涯学習を起点とした人とひととの交流やつながりが生まれています。そして、学んだ知識や経験が家庭・学校・地域で活かされ、一人ひとりの生きがいとなっています」を目指す姿として「市民がつながる生涯学習」施策を掲げています。

この目指す姿を踏まえ、「生涯学習プラン」の基本理念を「**市民・地域とともに高めあう 学びのまち八王子**」と定め、市が市民や地域の多様な主体と連携・協働して、ともに生涯学習施策を進め、「**学びのまち八王子**」を推進します。

3 生涯学習プランの基本施策

基本施策 1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～	
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが家庭の環境によらず、多様な体験活動に参加できている。 ●誰もが、いつでも、どこでも、学べる環境で、生涯にわたり多様な学びに取り組んでいる。 ●みんながともに学び、みんなが地域の一員として支えあいながら生涯学習活動に取り組んでいる。
基本施策 2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～	
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての子どもたちの健やかな育ちを地域で支えている。 ●学びが個人にとどまらず、社会や地域での活動に活かされ、人と人との交流が新たな学びにつながり、学習成果が循環している。 ●高校生・大学生等、若者が地域で活躍できる機会が充実し、地域が高めあって、協働している。
基本施策 3 学びを支える基盤づくり	
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習情報を広報紙・インターネットなどの複数の媒体で、分かりやすく提供し、市民の生涯学習活動の充実につながっている。 ●生涯学習施設が、市民が気軽に集い、つながれる、学びのきっかけづくりの場として機能している。

4 生涯学習プランの体系図

基本理念	基本施策	施策の展開	具体的な施策
市民・地域とともに高めあう 学びのまち八王子 くみんなが まなぶ いかす つながる	1 誰もが学べる 環境づくり ～まなぶ～	01 子どもの頃から始める生涯の学び	001 子どもたちが体験できる機会の充実
			002 子どもたちに向けた各種講座・教室の充実
			003 青少年の海外交流・都市間交流の実施
		02 人生100年時代を見据えた多彩な学習機会の充実	004 人生を豊かにする多様な講座の提供
			005 郷土の歴史や文化財に親しむ
			006 文化芸術に触れる
			007 読書のまち八王子の推進
			008 スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実
			009 社会人の学び直しの支援（リカレント教育）
		03 共生社会実現に向けた生涯学習の支援	010 障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援
			011 健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組
			012 性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び
	2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～	04 学校、家庭、地域で支える子どもの育ち	013 地域全体で子どもの育ちを支える
			014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動
			015 子育て世代がつながるきっかけづくり
		05 地域を豊かにする学びの還元	016 地域での活動のきっかけづくり
			017 地域で活躍するボランティアの養成・支援
			018 地域の課題解決につながる学びの提供
		06 学びをいかし、みんながつながる環境の充実	019 学習成果の発表と学びの広がり
			020 日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成
		07 高校生・大学生等、若者が活躍できる機会の充実	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす
			022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援
	3 学びを支える基盤づくり	08 学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	023 学びへの新たな参加を促す取組
			024 生涯学習の相談体制の充実
			025 生涯学習機会の情報の発信
		09 生涯学習環境の整備	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供
			027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり
			028 ICTを活用した生涯学習機会の充実

■ライフステージごとの生涯学習のイメージ

ステージ	生涯学習におけるイメージ	主な具体的な施策
乳幼児期 子育て期	地域全体で 子どもと子育て家庭を支える	007 ブックスタート事業
		013 家庭教育啓発リーフレット等の配付
		014 放課後子ども教室
		015 星とおひさまフィーカキャラバン
小中学生 (学齢期)	様々な体験活動を通して 「生きる力」を身に付け、 自分のあるく「みち」を 見いだす	001 出張体験講座
		002 八王子「宇宙の学校」
		002 青少年講座
		002 夏休み子どもいちょう塾
		003 北海道白糠町小学生交流事業
		003 青少年海外交流
高校生・ 大学生等	若者 高校生 大学生等が 社会的自立に向け、 地域活動等を通じて 社会とつながり、 自分の「みち」を あるきだす	021 八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル
		021 八王子地域合同学園祭★学生天国★
		021 学生企画事業への支援
		021 学生発表会
若者	支援を必要とする若者の学び直しの場の提供	022 支援を必要とする若者の学び直しの場の提供
		022 若者が参加できるボランティア活動の充実
		022 クリエイトライブステージ
社会人 (成年期)	いつでも学び直し、 活動に活かし 100年という自分の 「みち」を豊かにあるく	009 社会人の学び直し情報の提供
		009 本気の創業塾
		016 市民活動入門講座
高齢者 (高齢期)	生涯にわたる学びと活動で 健康寿命の延伸に つなげる	011 市民いきいきリフレッシュ体操
		011 ゆうゆうシニア講座
		011 介護予防講座
		011 生きがいづくりの教室
		016 はちおうじ志民塾

■（参考）スポーツ・読書におけるステージごとの取組

ステージ	スポーツ推進計画	読書のまち八王子推進計画
乳幼児期 子育て期	親子参加型のスポーツの場の提供	ブックスタート事業
		ぶっくぱっく事業
		おはなし会
		子育て世代への読書支援
小中学生 (学齢期)	部活動の指導補助者の派遣	学校図書館への団体貸出
	多様なスポーツプログラムの実施	調べる学習体験講座
	ジュニア育成プログラム実施	季節行事の実施（七夕、クリスマス）
	(外国人と日本人のスポーツ交流の推進)	一日図書館員、としょかんたんけんたい
	(障害者スポーツへの理解と指導者育成)	職場体験
	ジュニア期におけるアスリート発掘・育成	ブックトーク・ビブリオバトル
	オリンピック・パラリンピック精神の学習を推進	
高校生・ 大学生等	(ジュニア期におけるアスリート発掘・育成)	ビブリオバトル
		一日図書館員
		インターンシップの受入
		ボランティアの育成
若者	※若者（義務教育終了後から30歳未満）に該当する、高校生から社会人までの施策で対応	八王子若者サポートステーション利用者の受入
社会人 (成年期)	外国人と日本人のスポーツ交流の推進	勤労世代への読書支援
	働く人のスポーツの推進	大人向けぶっくぱっく事業
	障害者スポーツへの理解と指導者育成	大人向け図書館体験
	スポーツ推進委員活動の活性化	大人向けブックトーク
	スポーツボランティアの養成	
高齢者 (高齢期)	健康寿命を延ばす運動ができる環境の拡充	八王子千人塾
	自主的活動グループの育成・支援	朗読会
	喜びや生きがいにつながる役割づくり	高齢者施設への出張図書館・団体貸出
		幸齢者サロンの共催



<コラム>

そもそも「生涯学習」ってなに？



プランの8ページに「生涯学習」の定義ってあったけど、なんだか難しい感じだね



そんなに難しいことではないよ

要するに、一人一人が自分から行う「学習を伴う活動」の全てを、「生涯学習」と呼ぶんだよ

えっ、陶芸や俳句の教室に通ったり、ゲートボールの活動などのことではないの？

もちろん、それらも「生涯学習」の一部だけれど、例えばボランティア活動や、読書、テレビを見たりすることも、みな、広く「生涯学習」と言えるね

へえ。じゃあ、学校での勉強も生涯学習なのかな？

そうだね

「学校教育」は幼稚園から大学まで行われる教育、「生涯学習」は学校を終えた後に行われる学習、というように、「学校教育」と「生涯学習」は別物だと考えている人が多いけれど、

「学校教育」は「生涯学習」の重要な一部分だよ

なるほど！

「学校」では、生涯にわたって学び続けることができるように基礎的な学力を身に付け、自ら学び、課題を見出して解決策を考える学びを行っているよ

ありがとう、勉強になったよ
これも、「生涯学習」だね